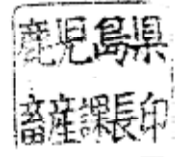


畜 第 5 2 4 号  
平成30年 8 月 8 日

公益社団法人 鹿児島県トラック協会 様

鹿児島県農政部畜産課長



中国におけるアフリカ豚コレラの発生に伴う豚及びいのししの所有者への  
飼養衛生管理基準遵守の再徹底について（依頼）

日頃から、本県の家畜衛生対策への御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

このことについて、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり「中国におけるアフリカ豚コレラの発生に伴う豚及びいのししの所有者への飼養衛生管理基準遵守の再徹底について」（平成30年 8 月 3 日付け30消安第2532号）の通知がありました。

アフリカ豚コレラは、口蹄疫と同様に家畜衛生上極めて重要な越境性動物疾病であり、平成19年以降、ロシアや欧州において発生が継続しており、東アジア地域への侵入リスクが高い状況にあります。このような状況の中、8月3日、中国の遼寧省瀋陽市瀋北新区の養豚場において、初めてアフリカ豚コレラの発生が確認されました。今般の発生原因については、明らかになっていませんが、中国政府による緊急的な防疫対策が講じられているところです。

ついでには、豚及びいのししを所有する傘下会員等に対し、飼養衛生管理基準の徹底を指導するとともに、特に生肉を含む、又は含む可能性がある飼料を給与する場合は、加熱処理（摂氏70度以上で30分間以上又は摂氏80度以上で3分間以上）が適切に行われたものを用いるよう、改めて周知及び御指導をお願いします。

<農林水産省ホームページ：家畜伝染病の発生に関する情報>

アフリカ豚コレラ

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>

<県から家畜伝染病発生情報等の随時発信しています。メールマガジン「かごしま畜コミ・インフォ」>

<http://www.pref.kagoshima.jp/ag07/sangyo-rodo/nogyo/tikusan/topics/kagoshima-chiccomi.html>

家畜衛生係

TEL 099-286-3224

FAX 099-286-5599

鹿児島県農政部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

中国におけるアフリカ豚コレラの発生に伴う豚及びいのししの所有者への  
飼養衛生管理基準遵守の再徹底について

アフリカ豚コレラに係る防疫対策については、これまで、家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）第3条の2に基づくアフリカ豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針（平成25年6月26日農林水産大臣公表）等により豚及びいのししの所有者に対する飼養衛生管理基準の遵守、早期発見・早期通報等の徹底をお願いしてきたところです。

本病は、口蹄疫と同様に家畜衛生上極めて重要な越境性動物疾病であり、平成19年以降、ロシアや東欧において発生が継続しており、また、近年は訪日外国人の増加により我が国への、侵入リスクが高い状況にあります。

このような状況の中、本日8月3日、中国遼寧省瀋陽市瀋北新区の養豚場において、アフリカ豚コレラの発生が確認されました。今般の発生原因については明確にされていませんが、中国政府は、緊急的に防疫対策を講じているところです。

我が国における防疫対策については、「夏季休暇期間中における口蹄疫等の防疫対策の徹底について」（平成30年7月4日付け30消安第2008号農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知）により、畜産関係者等の海外渡航自粛、衛生管理区域への病原体の持込み防止と消毒、早期発見及び早期届出等に関する指導を実施していただいているところですが、再度その徹底をお願いします。また、防疫に万全を期すため、あわせて、豚及びいのししの所有者に対して、飼養衛生管理基準に基づき、生肉を含み、又は含む可能性がある飼料を給与する場合は、加熱処理（摂氏70度以上で30分間以上又は摂氏80度以上で3分間以上）が適切に行われたものを用いるよう、改めて指導徹底をお願いします。

今後も海外におけるアフリカ豚コレラの発生状況等の最新の情報を当省ホームページ等を通じて積極的に公表してまいりますので、関係者の指導等にご活用下さい。

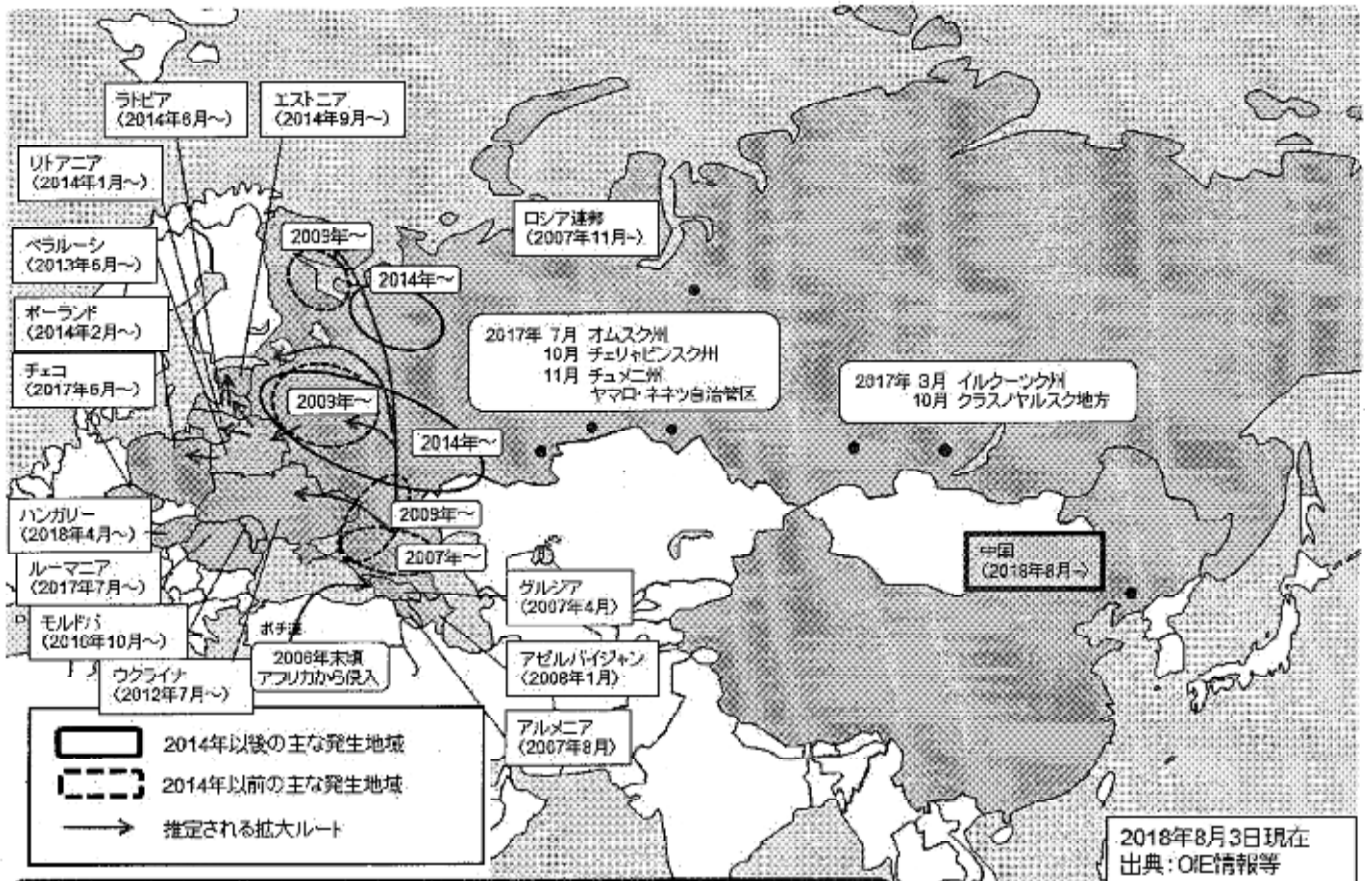
なお、動物検疫所では、旅行客を対象とした空港及び港における手荷物の検疫等を強化しているところですが、今回の発生を受け、改めて関係機関への情報提供・注意喚起を行い、水際対策を徹底していることを申し添えます。

# 中国でアフリカ豚コレラの発生を確認!

2007年にロシアでアフリカ豚コレラが確認されて以降、その発生地域が徐々に拡大しており、**2018年8月**、中国の遼寧省瀋陽市で本病の発生が確認されました!

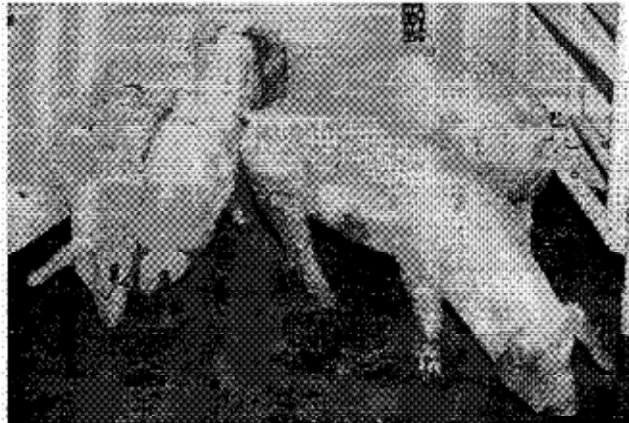
**我が国に本病が侵入するリスクが高まっています!!**

欧州・ロシアにおけるアフリカ豚コレラの発生拡大状況(2007年～)



## アフリカ豚コレラの症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40～42℃)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



写真出典: USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center